

## 高島平プロムナード基本構想(素案)に対する区民意見について

高島平プロムナード基本構想(素案)について、説明会やパブリックコメント、プロムナード勉強会等により、広く区民からご意見を募集したところ、貴重な意見や提案を頂いた。寄せられた意見等の要旨、並びにそれに対する区の考え方をまとめたので、報告する。

### 1 高島平プロムナード基本構想(素案)説明会の実施結果

#### (1) 実施状況

##### ①パネル展示による説明会

日 時：平成29年3月4日(土) 12時45分～16時15分

場 所：高島平団地2-33-1号棟1階コンコース(東武ストアの真向かい)

参加者：342名(男性156名、女性186名)

##### ②全体説明会

日 時：平成29年3月5日(日) 14時00分～15時20分

場 所：高島平地域センター 第一洋室(高島平3-12-28)

参加者：35名(男性25名、女性10名)

#### (2) 周知方法

①広報いたばし ②区ホームページ ③ポスター掲示 ④町会長会議

#### (3) 主な意見や要望

##### ①進め方等

- ・高島平地域ランドデザインにおける「プロムナード基本構想」の位置づけを明確にして欲しい。
- ・整備時期や整備期間を知りたい。特に直近10年間の整備計画を明確にして欲しい。
- ・整備後の管理主体やスキームについても、検討して欲しい。
- ・区有地のみでなく、団地等の隣接建物も含めて一体的に考えて欲しい。また、その際周辺関係機関と調整して欲しい。

##### ②整備内容

- ・うっそうとしていて、暗くて怖い場所があるので、手入れが必要である。
- ・カフェなどの飲食スペースがあると良い。
- ・子どもをターゲットとした整備をして欲しい。
- ・若い人を惹きつける様な整備をして欲しい。
- ・住民管理の花壇を整備して欲しい。
- ・生息している昆虫や水中生物等も保全する方向での整備をして欲しい。
- ・歩行者と自転車の分離など双方にとって安全で快適な環境整備をして欲しい。
- ・歩きやすい仕様にして欲しい。
- ・多目的に使える、コミュニケーションの場ともなる広場空間が欲しい。

## 2 高島平プロムナード基本構想（素案）に対するパブリックコメント実施結果

(1) 意見募集期間

平成 29 年 4 月 8 日（土）～ 5 月 22 日（月）【45 日間】

(2) 意見募集の公表方法

①区ホームページ ②広報いたばし

③窓口（高島平ランドデザイン担当課、区政資料室、高島平地域センター、区立図書館）

(3) 意見の提出方法

直接または郵送・FAX・Eメール・Web

(4) 意見数

10 件 4 名・1 事業者（Eメール：1 人・1 事業者、Web：3 人）

(5) 意見の概要と区の考え

No.	意見の概要	区の考え方
1	現状の様にただ樹木を植えこむのでは無く、全体としての明確なコンセプトを設定し、時には、思い切って、樹木を伐採し、オープンスペースの設置や子どもが安心して遊べる等の魅力的な施設を配置するとともに、適正な公園設備の設置を行い、コストパフォーマンスの高い公共空間として欲しい。	基本構想では再整備に向け、区民から長く愛され、誇りとなり、他の地域に住む方々に自慢したくなる、そんな素敵なみどり豊かなみんなの居場所をつくることを全体のコンセプトとして設定しています。 本構想の整備方針では、現在の活動状況等を踏まえ、人の流れ・活動が交わる場所を中心に、戦略的な空間を創出するなど、ゾーンごとの整備方針も設定しています。具体的な整備にあたっては、こうしたコンセプトやゾーン方針に基づき、適正で魅力ある施設計画や樹木植栽計画を立て、進めていきます。
2	散歩道として利用するには明るさが足りず、あまりにも暗いので、改善を求めます。	プロムナードを更に人々に利用される魅力的な場所とするためにも、ご指摘のとおり「明るさ」は重要なキーワードと考えています。照明の適切な配置に向けた検討や方針④「緑の適正な育成・管理を進める」で示したとおり、周辺との関係、緑地内の雰囲気、人々の利用等に配慮しつつ、既存の樹木の更新や適正な管理を進め、見通しや風通しの改善もしていきます。
3	現状では緑道内は、歩行者のみの利用に限られています。自転車専用レーンを増設してはいかがでしょうか。	本構想において、方針①「歩きたく、自転車にも乗りたい、憩いたくなる場づくりを行う」において、取組の具体例で示したとおり、今後の自転車と歩行者の分離、共存のあり方検討を進めていきます。
4	もう少し外国の例を研究して頂けたらさらにいろいろなケースが出てくると思います。	本構想の作成過程では、セルジー（フランス）やコペンハーゲン（デンマーク）、ボストン、ニューヨーク（アメリカ）及び、シンガポール等の外国の事例や国内の事例も参考としつつ、検討を行いました。今後の具体的な整備に向けた計画づくりにおいても、国内外の事例の更なる研究もしつつ、進めてまいります。
5	空き缶等ゴミが多く見受けられるのが気になります。新しく活性化されていくのも良いですが、そういったマナーなどゴミ対策もして頂きたいです。	プロムナードを更に人々に利用される魅力的な場所とするためには、ハード事業のみならず、ソフト事業との両面から取組を進めることが重要であると認識しています。ご指摘のゴミ対策についても、清掃活動等への区民参画・参加を募る手法も含めて、検討してまいります。

No.	意見の概要	区の考え方
6	<p>緑地の緑は騒音や排気ガスの低減に大きく貢献しています。緑地の樹木は基本的に残し、緑地南側の区道の幅員を狭めるなど、緑の総量はなるべく減らさずに、季節を感じられる緑の多い環境を希望します。</p>	<p>本構想は、現状、高島平緑地が緩衝緑地帯としての機能特化型の空間であるため、より住環境の魅力としても活かすべく、今後の再整備に向けた方向性を示すものです。</p> <p>したがって、方針④「緑の適正な育成・管理を進める」で示したとおり、周辺との関係、緑地内の雰囲気、人々の利用等に配慮しつつ、既存の樹木の更新や適正な管理を進めると共に、それらの緑に彩りを添える空間整備を推進していくことも打ち出しております。</p> <p>ご提案頂いた南側区道の幅員を狭め、緑地の総量は減らさない様な手法等についても、今後の具体的な整備検討の中で考えていきます。</p>
7	<p>高島平四～五丁目の高島平緑地において、数十本の樹木が伐採されています。いつ伐採されたのですか。</p> <p>当該伐採について、地域住民への説明や了解は得ていますか。</p>	<p>ご質問のエリアの伐採については、平成29年1月下旬から同年3月末までの期間で実施しております。</p> <p>当該伐採は、プロムナードの再整備計画に基づくものではありません。以前より見通しの悪い場所での犯罪行為の発生に対し、地域住民から対策を求められるとともに、枝の落下による緑地利用者への被害や交通車両への損害、倒木等による高島通りの道路施設の破損被害等の発生に対する対策を都道の道路管理者（東京都）及び、交通管理者（警視庁）からは要請されていたこともあり、その対応として通常管理の中で実施したものです。</p> <p>当該伐採に関する説明については、実施しておりませんが、事前に緑地内に看板を設置して、近隣住民並びに、利用者への周知をしております。</p> <p>なお、今後の伐採については、伐採予定樹木にマーキングを行うとともに、地元町会・自治会へ説明を実施する予定です。</p>
8	<p>地域住民のみならず、地域外から、高島平を訪れる人々への誘導施策や、人を受け止める商業施設など、にぎわいの創出が重要なポイントだと思えます。</p> <p>地域ブランディングの構築も含め、プロムナードの整備のみではなく、地域に人が訪れる花火大会等のイベント体験をきっかけとして、再訪につなげる施設整備、周辺企業、事業体との連携、新たな業種の誘致などを望みます。</p>	<p>本構想において、「にぎわい」は、地域外からの来街人口増加を図ることとも捉えており、具体的な設置施設については、そうした視点も勘案しながら決めていきます。</p> <p>プロムナードの再整備を起爆剤として、行政のみならず、区民、民間事業者、学識経験者等の立場の異なる多様な主体が、知恵と活力を結集し、ハード及びソフト事業の両面から取組を進め地域内の「にぎわいの創出」に繋げていきます。</p>
9	<p>災害発生時に避難・滞在拠点間を連絡する動線の確保や災害時対応にも利用できる空間や設備の設置は、極めて重要です。</p>	<p>プロムナードの具体的な整備に際しては、魅力的な空間とするとともに、方針⑥「防災・防犯の向上に貢献する」で示したとおり、災害発生時に向けた備えの充実についても配慮します。</p>
10	<p>再生可能エネルギーや自立分散型エネルギーの利用によるエネルギー効率が高く、環境負荷を低減できる「スマートエネルギーネットワーク」の構築に向けて、東西南北に渡るプロムナードの地下に自立分散型エネルギーシステムのための配線や配管スペースをあらかじめ計画しておくことがコスト削減の観点からも必要と考えます。</p>	<p>高島平地域の都市再生の方向性を示した「高島平地域グランドデザイン（平成27年10月策定）」で示したとおり、スマートエネルギーネットワークの構築については、その重要性及び必要性について認識しております。</p> <p>今後の具体的なまちづくりの計画の中で、エネルギーネットワークやプロムナードの地下空間の活用についても、検討していきます。</p>

### 3 UDCTak プロムナード研究部会における勉強会の実施結果

プロムナード基本構想への提案・提言を目的にアーバンデザインセンター高島平内に昨年「プロムナード研究部会」を設置し、様々な視点から検討を重ねている。

今年度は、再整備に向けたプロムナードの具体的な使い方イメージをテーマに勉強会を開催し、地域のニーズ把握やシーズの掘り起こしを行った。

#### (1) 第1回勉強会

日 時：平成29年7月8日（土）10:00～12:00  
場 所：高島平二丁目集会所  
内 容：高島平駅周辺ゾーンから西台駅周辺ゾーン  
参加者：25名

#### (2) 第2回勉強会

日 時：平成29年8月8日（火）18:30～20:30  
場 所：高島平区民館 集会室高島平区民館  
内 容：新高島平－高島平駅間ゾーンから西高島平駅周辺ゾーン及び、南北軸北側ゾーンから南側ゾーン  
参加者：27名

#### (3) 第3回勉強会

開 時：平成29年9月28日（木）11:00～16:00／9月29日（金）11:00～20:00  
9月30日（土）11:00～20:00／10月1日（日）11:00～18:00  
場 所：高島平駅前交番に隣接する高島平緑地  
内 容：プロムナード対象範囲全般  
参加者：41名（4日間の延べ人数）

#### (4) 主な意見：

##### ①進め方等

- ・お金をかけてプロムナードを整備して、ソフトが付いてこないという状況にならないようにしてほしい。
- ・今後も直接声を聞く機会を設けるようにお願いします。一人一人がプロムナードについて考えるきっかけをつくることを大切にしてほしい。
- ・樹木の管理や植樹なども長期的な視点をもって取り組んでもらいたい。

##### ②整備内容

- ・見ているだけで楽しめる場所があると良い。
- ・水辺がきれいになってほしい。
- ・最近、スーパー前に置かれたベンチが撤去されている場所もあり、ひと休みできる場所が減っているので、休める場所があるのはとても良い。
- ・敷地内の歩行者通路がもう少し広くなると良い。
- ・歩行者、自転車、それぞれが安心して通行できる道にしてほしい。自転車の走行禁止等のマークをしっかりと目立つように表示してほしい。
- ・現在の水路は使い勝手が悪いと感じている。水路をなくし、歩行者通路を広くした方が良い。

- ・全てがにぎわい空間になって欲しくない。癒しの空間は守りたい。(自然が減ることに対して、抵抗がある。)
- ・緑地をただ通り過ぎるだけではもったいない。散歩だけでなく、立ち止まってお茶でもできる場が欲しい。
- ・期間限定で、定期的に若い人向けにヨガや高齢者向けに気功の教室等を開催し、気軽に参加できるようにすると良いのでは。高齢者をはじめとして多くの方が健康でいるためにも、外に出てもらえるような機会を増やせると良い。
- ・農福連携の場として高齢者や障がい者が農業に取り組める場所を設けて欲しい。
- ・明るくしたほうが良い。最近、樹木を切って良くなった。
- ・動物園、植物園など、地域の施設との連携が必要

### ③特定のゾーン整備に対する意見

- ・サラリーマンをターゲットにした賑わいの場にしたい【西台駅周辺ゾーン】
- ・子供の遊び場+大人も時間を過ごせる場にしたい【三田線高架沿いゾーン】
- ・訪れる機会が生まれる場にしたい【三田線高架沿いゾーン】
- ・病院利用者も利用できる場にしたい【前谷津川緑道周辺ゾーン】
- ・区道や沿道店舗と一体的な活用ができる場にしたい【前谷津川緑道周辺ゾーン】
- ・水を活かして子供が遊べる場にしたい【前谷津川緑道周辺ゾーン】
- ・立地を活かした賑わいの場にしたい【高島平駅周辺ゾーン】
- ・積極的なイベント活用ができる場にしたい【高島平駅周辺ゾーン】
- ・「文化のまち高島平」を体現する場所にしたい【高島平駅周辺ゾーン】
- ・緑豊かな環境を活かしたアクティビティを行いたい【新高島平ー高島平駅間ゾーン】
- ・地元の人を楽しめる場にしたい【西高島平駅周辺ゾーン】
- ・訪れる目的ができると良い【西高島平駅周辺ゾーン】
- ・イベント活用できると面白い【南北軸北側ゾーン】
- ・自転車で往来しやすくなると良い【南北軸北側ゾーン】
- ・イルミネーション等で地域のイメージづくりができると良い【南北軸南側ゾーン】